

平成29年 7月 9日
九州地方整備局
山国川河川事務所

【速報】

平成29年7月5日梅雨前線豪雨洪水における 山国川河川改修の事業の効果について

～ H24 九州北部豪雨対応『山国川床上浸水対策特別緊急事業』により、
青の洞門などで知られる景勝地「青地区」の浸水を解消しました。～

概要

山国川では、平成24年7月九州北部豪雨災害をうけ、「床上浸水対策特別緊急事業」（以下、「床対事業」という。）により、緊急的に堤防整備や河道掘削を進め、今年度中の完了を目標に事業を進めておりました。

今回の梅雨前線豪雨においては、堤防整備が完成した観光地、本耶馬溪町の青地区（青の洞門、競秀峰）において、浸水家屋が43戸から0戸に解消するなど、床対事業等により大きな事業効果を発現しました。

なお、床対事業区間全体でも、平成24年洪水では、浸水家屋が約200戸であったところ、今回の洪水では2戸の浸水にとどまりました。

なお、本資料は速報値のため今後の調査等によって変更となる可能性があります。

【参考】

今回の出水における、雨量や河川水位の情報は、九州地方整備局で既報の、以下 URL を参照ください。

→ http://www.qsr.mlit.go.jp/press_release/h29/bousai1707060801.html

なお、本記事発表資料は、山国川河川事務所の以下の URL を参照ください。

→ <http://www.qsr.mlit.go.jp/yamakuni/office/press/pressh29.html>

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 山国川河川事務所

調査課長 熊井 教寿（くまい のりひさ）

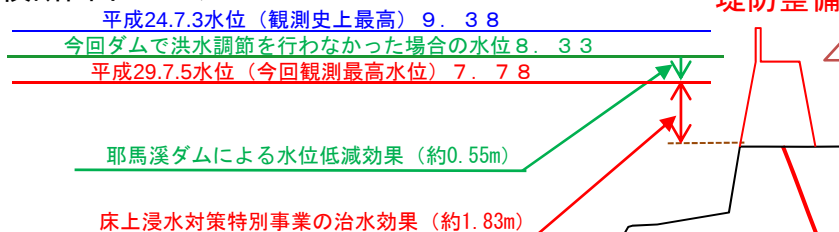
TEL（0979）24－0571

山国川床上浸水対策特別緊急事業の整備効果(青地区)

- 平成24年7月出水を踏まえ、「床上浸水対策特別緊急事業」を平成25年5月から実施中。
- 平成29年度末の完成を目標に、堤防整備や河道掘削等を実施中。青地区は既に堤防が完成していた。
- 堤防未整備であれば、今回洪水は約183cm程度溢水していた。また、上流の耶馬溪ダムの洪水調節により、約55cmの水位低減を図った。
- これらの治水対策の推進で、平成24年出水では浸水家屋が43戸であったが、今回出水では浸水被害は解消した。



■青地区河川横断面図イメージ



被害状況			H24.7.3洪水	H24.7.14洪水	H29.7.5洪水 (今回洪水)
浸水区域面積		ha	51.7	50.2	0
家屋被害	床上浸水	戸	36	31	0
	床下浸水	戸	7	10	0
	計	戸	43	41	0

【青地区の整備状況と浸水の軽減イメージ】



※本資料は、速報値の為、今後の調査等によって、変更となる可能性があります。

【参考】「青地区」とは

- 「青地区」は、国指定名勝「耶馬溪」、耶馬日田英彦山国定公園に指定され、年間150万人が訪れる九州を代表する観光地。【「青の洞門」、「競秀峰」が有名】
- さらに、平成29年4月28日には日本遺産に「耶馬溪遊覧」として登録され、「青地区」もその1つ。

【青地区位置図】



【完成堤防】

【青地区堤防完成状況】



【青地区: 青の洞門】



平成29年7月洪水の浸水被害の概要

■一般被害の状況

国管理区間の被害状況			H24.7.3洪水	H24.7.14洪水	H29.7.5洪水(速報)
浸水区域面積		ha	58.1	50.1	1.8
家屋被害	床上浸水	戸	132	125	0
	床下浸水	戸	62	63	2
	計	戸	194	188	2

※今回洪水は速報値であり、今後の調査結果により変わる可能性があります。



凡 例	
	: H24.7.3 浸水範囲
	: H24.7.14 浸水範囲
	: 今回出水 浸水範囲